

鳥取県地震災害被災地への専門ボランティアによる支援について

10月25日に現地で鳥取県中部地震による被害状況を調査した結果、鳥取県社会福祉協議会や倉吉市災害ボランティアセンターよりブルーシートを張ることができる専門ボランティアの依頼があったので、（公財）日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会（J C兵庫ブロック（会長 千住 啓介）。ひょうごボランタリープラザと「災害時を想定した相互協力に関する協定」を締結）と協議し、J C兵庫ブロックが屋根のブルーシート張りの専門ボランティアによる支援を行いました。

1 ひょうごボランタリープラザによる調査

- (1) 調査日 10月25日（火）
- (2) 調査者 ひょうごボランタリープラザ 鬼本所長代理、山下主事
兵庫県県民生活課 NPO・ボランティア活動支援班 横山班長
- (3) 調査先 鳥取地震被災地（倉吉市）
鳥取県社会福祉協議会、倉吉市災害ボランティアセンター
- (4) 調査結果
 - ・災害ボランティアセンターに寄せられているニーズの9割がブルーシート張りだが、一般ボランティアには屋根の上の作業は危険で依頼できない。
 - ・ブルーシート張りができる専門ボランティアが足りないため、支援をお願いしたい。

2 J C兵庫ブロックの専門ボランティア支援

- (1) 日時 10月26日（水） 9：00～15：00
- (2) 行き先 鳥取県倉吉市の被災地
- (3) 活動内容 ブルーシート張り
- (4) 参加者 J C兵庫ブロック会員 8名
(ブルーシート張りに関する専門的技能・技術を有する者)